

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 14 日

事業所名 療育ケアMARINE RAINBOW 久留米高校前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4		・個別療育を行っていくためにもう少し部屋数が増えると充実する。 →常備しているパーテーションなどを活用し環境設定に努める。
	2	職員の配置数は適切である	4	4		・パート職員も多いため欠勤が出ると回しにくい。 ・職員のお休みや急な早退の際に必要と感じるときはある。 →配置上は問題ないが、入ってくる報酬に限りがあるため、できる範囲で支援の質の観点から職員を増やせるように努めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	6		・構造化されたスペースが乏しい。 ・まだ視覚支援が足りない部分がある。 →構造化について話し合い環境設定に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		・知らない。 →HPで公表している旨を周知する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・ミーティングの時間があるため連携、勉強会を行いやすい ・1人1人が発表する場を作っている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・評価⇒立案を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		・標準化された検査バッテリーは使用出来ていない。 ・セラピストが取っていても周知が出来ていないことがあるので行っていく必要がある。 →今後、話し合いを実施し、標準化されたアセスメントの作成を検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		・地域支援まではまだ行えていない。こちらからの発信等が必要。 →地域支援について話し合う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・ミーティングにて共有している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3	・訓練、療育の見直しを行っている ・スケジュールを作ったり、特性に合わせて実施している	・活動内容の幅が狭く、内容が同じこともあるのもっと内容を充実させていく必要がある。 →ミーティングにて活動内容の話し合いを実施する。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・必要に合わせて個別・小集団を行っている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・ミーティング内で共有している ・ミーティングにて行っている	・十分ではないため、継続して行っていく必要あり。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・翌日のミーティングにて振り返りを行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・各児童様ごとに記録を行っている ・毎日の記録とは別に特性に合わせてトイレや行動(癇癪)を記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4		・時間的なものから難しいことが多い。 ・今後は色んな職員が参加するようにしていく。 →可能であれば2名で参加するようにする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	7	・現在いない	→今後、検討する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当する利用者様がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当する利用者様がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4		・他機関との連携(療育内容について)を増やしていきたい。 ・十分ではないが、送迎時等可能な限り情報を得ようとしている。 →他機関との連携強化を検討する。送迎時の情報共有を継続して実施していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	5		・他機関との連携(療育内容について)を増やしていきたい。 ・小学校等には行えていないため、今後もっとたくさんの訪問支援等にて共有していきたい。 →進学時の移行支援について保護者様の同意を得た上での実施を検討する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	8	・個別で勉強会の参加は行っている	・他機関との連携(療育内容について)を増やしていきたい。 →実施を検討する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8		・他機関との連携(療育内容について)を増やしていきたい。 →実施を検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	・保護者様へ毎日の様子を連絡している ・送迎時やHUGシステムにてその日の様子を伝えている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	7		・十分ではないのでしっかりと発信していきたい。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	3			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	2			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		・保護者様との直接相談などは出来ていない。 ・直接伝えられることは伝えているが少ない。HUGの連絡機能の有効活用が必要。 →継続して実施していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		・今後していきたい。 →今後の開催を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	・ミーティング等を行い共有し、また専門職が代わりに説明したりしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・コミュニケーション面の問題等細かく伝えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1		・実技など増やして緊急時の対策が必要。 →事業所内で実施する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・情報共有を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		・指示書はもらえていないかも。 →保護者様に確認し指示書があれば共有して頂く。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		・少ない。 →作成と共有を促す。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。